



号外

# 松下玲子新聞

立憲民主党

東京18区(武蔵野市・小金井市・西東京市)

発行：立憲民主党東京都第18総支部 松下玲子事務所  
〒180-0006 東京都武蔵野市中町1丁目21-8 イトーピア武蔵野ブランマーク210  
Mail:info@matsushitareiko.com 電話: 0422-50-0696 Fax: 0422-50-0697

2024年(令和6年)

8月1日木曜日

# 戦争は終わっても終わらない

## 8月は戦争を考える月 公開勉強会「松下玲子と一緒に学びませんか」より

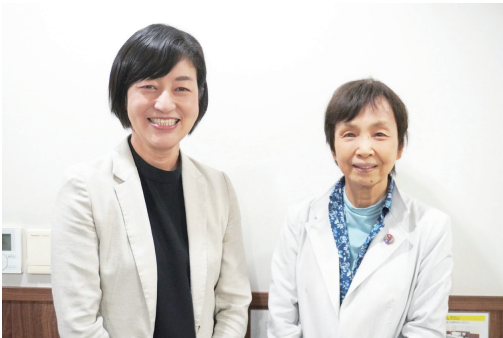


アウシュヴィッツの死の門、写真：大石芳野

松下玲子は、月に1回のペースで勉強会を開いています。毎回、講師をお招きして2時間程度の会合です。どなたでも参加できます。

第4回(7月12日)は、写真家の大石芳野さんをお招きして、「平和への道～戦禍の記憶を伝え、広めるには…～」と題して、大石さんが撮られた写真を映写しながら、さまざまな「戦後」を見て、聞きました。

コソボ、ナチス(アウシュヴィッツ)、広島、長崎、そして武蔵野。それぞれの地での戦争の傷跡、戦後を生きてきた人たちの写真



左：松下玲子、右：大石芳野(おおいしよし)プロフィール：写真家。日本大学芸術学部写真学科卒業。元東京工芸大学芸術学部教授(現在は客員教授)。戦争後を見つめるドキュメンタリーを手がけ、ベトナム戦争の被害者や広島、長崎の被爆者への取材を続ける。ニューギニアなど人びとの暮らしに寄り添う作品にも定評がある。7月2日より毎週火曜日、日本経済新聞1面のコラム「あすへの話題」を執筆中。

が映し出されました。息を呑み、言葉を失うシーンも多くありました。戦争は絶対にしてはいけない、やってはいけないと、改めて思います。

第2次世界大戦が終わって、来年で80年。終戦時に10歳だった方も90歳になり、戦争体験を直接聞くことが難しくなっています。だからこそ、大石さんの写真は貴重です。無言のうちに、戦争の残酷さ、残虐さ、悲惨さを伝えてくれました。

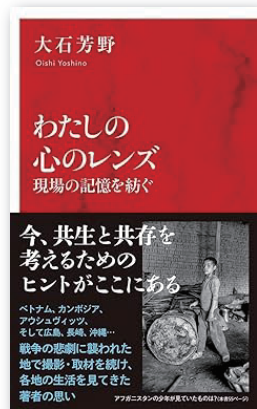
第2次世界大戦は79年前に終わりましたが、戦争で傷ついた人の人生は、ずっと続きました。まちも壊され、そこにあった伝統も歴史も消えさりました。

戦争は、始めるのよりも終わらせるのが難しいと言われる。終わった後も、平和な世の中を作っていくのは困難です。

日本は、奇跡的に、戦後の経済復興に成功しました。平和憲法を作り、それを守り、どの国とも戦争をしてこなかったからこそ、戦後の復興だったと思います。

8月は、戦争について、平和について、じっくり考えてみたいと思います。

大石さんの本を一冊、紹介します。夏休みにぜひお読みください。(編集部)



集英社  
2022年6月7日  
990円+税

わたしの心のレンズ  
現場の記憶を紡ぐ  
大石芳野 著  
インターナショナル新書

これまでに取材したベトナム、カンボジア、アウシュヴィッツ、そして広島、長崎、沖縄など振り返り、世界はいまも戦時下であると強く訴え、人間のあり方、戦争や差別をもたらす「何か」とそれを生き延びる道考えた本です。

## これまでの勉強会

第1回  
4月19日(金)

「武蔵野市の  
高齢者福祉の歴史と今」  
講師：笹井肇さん  
(前武蔵野市副市長)



第2回

5月17日(金)  
「都市農業の昔と今」  
講師：榎本一宏さん  
(関前 生産者)  
櫻井義則さん  
(関前 生産者)

第3回

6月6日(木)  
「フレイル予防 運動と食事で  
健康寿命を伸ばそう!」  
講師：野崎 稔さん  
(スイング・ビル  
野崎クリニック 院長)  
メタボ世代と要介護高齢者の隙間に位置する「シニア」に注目して、できるだけ介護に至るまでの期間を伸ばそうというお話。



第4回

7月12日(金)  
「平和への道～戦禍の記憶を  
伝え、広めるには…」  
講師：大石芳野(写真家)

(次回) 第5回  
8月22日(木)

14:00~16:00  
武蔵野芸能劇場  
2階小ホール  
講師：桂木美江さん  
(吉祥寺ふわまる助産院 院長)



「子育て支援の実際と課題」  
一人ひとりの意識から街の空気を変えては社会と政治を変え社会全体で子ども子育てを応援しましょう。

●勉強会ご参加のお申込みはQRコードもしくはお電話で  
☎:0422-50-0696



### LINE友だち 募集中

日々の活動報告や、  
イベントの告知を配信しています

※通知はコチラから

